

NETIS登録番号：KT-180147-A

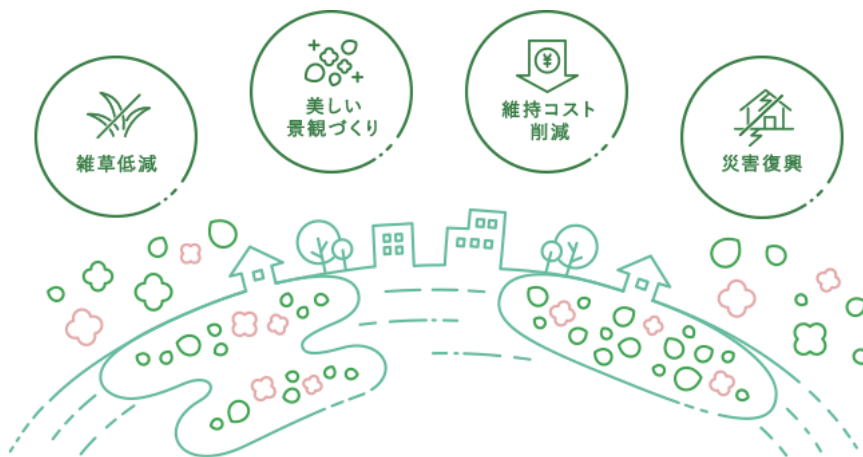


イワダレソウ改良種

クラピア[®]
GREEN PRODUCE



品種登録番号：第26198号・第21386号・第28948号



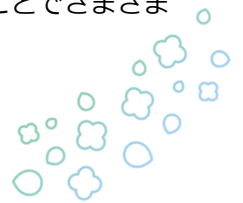
Greening Solution. 美しい緑地を次代につなげる

クラピアについて



サステナブルで多機能 未来をつなぐグランドカバープランツ

雑草研究における日本の第一人者宇都宮大学の故倉持仁志講師が10余年の歳月をかけて生み出した、国内唯一の品種登録済みイワダレソウ「クラピア」。不稔性の特長を持つ環境に配慮したグランドカバープランツです。柔らかな葉茎が高速で被覆し、美しく密なグリーンカーペットを形成することでさまざまな緑地の課題解決に貢献します。



クラピア品種

全品種、農水省の品種登録を取得しています

クラピア
K7

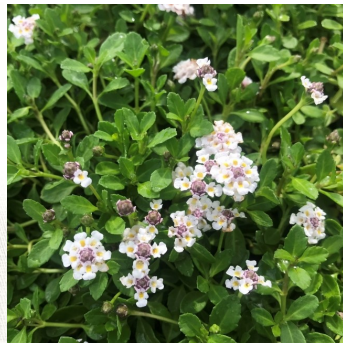


クラピア「K7」

在来種イワダレソウの改良品種「クラピアS1」から選抜した品種。国内唯一の在来種イワダレソウとして公共工事にご利用頂いています。

- 花色：白色
- 葉色：深い緑
- 耐寒性品種
- 不稔性
- 改良在来種の選抜種
- 農水省品種登録番号：第26198号

クラピア
K5



クラピア「K5」

在来種イワダレソウ改良品種とヒメイワダレソウの交雑種。K7に比較して花数が多く、民間工事や一般のお庭への植栽向けの品種です。

- 花色：薄いピンク
- 葉色：淡い緑
- 耐寒性品種
- 不稔性
- 交雑種
- 農水省品種登録番号：第21386号

クラピア
K3



クラピア「K3」

在来種イワダレソウを両親にもつ品種からの選抜種で、丸い葉ときれいなピンク色の花が特長。草丈が高めで厚い層を形成します。

- 花色：ピンク色
- 葉色：淡い緑
- 耐寒性品種
- 不稔性
- 在来種
- 農水省品種登録番号：第28948号

※オンラインショップからのみお買い求め頂けます。

～クラピア全品種、同等の耐寒性を保有しています～

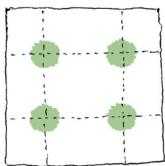
【寒冷地域での越冬可能な目安】冬の最低気温がマイナス10度を下回らない地域であれば生育可能です。東北地方でも沿岸地域であれば越冬可能ですが、北海道や東北地方の内陸部は越冬が難しく、本州でも標高1,000mを超える地域への植栽は推奨しておりません。

クラピア苗 規格

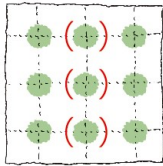
通年で生産、出荷を行っています

	9cmポット（ポット苗） 対象品種：K7・K5・K3	4.5cm連結ポット（ミニ苗） 対象品種：K7・K5
イメージ		
箱入り数	40ポット/箱	144ポット/箱（72苗連結）
出荷単位	1箱以上（箱単位での出荷）	1箱以上（箱単位での出荷）
ポット寸法	径9cm 高さ7.6cm 底径6.4cm 容量360cc	縦45mm 横45mm 高さ48mm
<p>※出荷時被覆率※</p> <p>ポット苗、ミニ苗、共にクラピア被覆率70%以上が標準（右画像）</p> <p>・冬季は生産配ハウス内で順化させています。</p>		
		

植栽基準について 「ポット苗 4苗/㎡」 「ミニ苗 6～9苗/㎡」（メーカー推奨）



ポット苗4苗/㎡



ミニ苗6～9苗/㎡

- ・植栽基準は生育環境が整っている場合です。
- ・ミニ苗の植栽はシート併用の場合6苗/㎡、裸地の場合9苗/㎡を推奨。
- ・急斜面の場合は横へ広がりにくいのでつめて植栽してください。
- ・植栽環境により植栽本数は異なります。
- ・法面の場合、千鳥植える場合もあります。

クラピア苗の生産地

全てのクラピア苗は、当社グループ会社運営の栃木県内管理農場で生産を行っています。品質基準を設けて日々生育管理を行い、出荷まで責任を持って対応します。



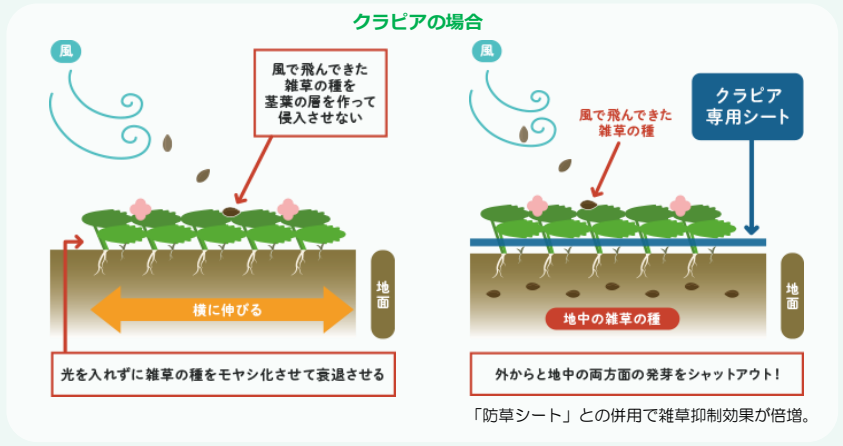
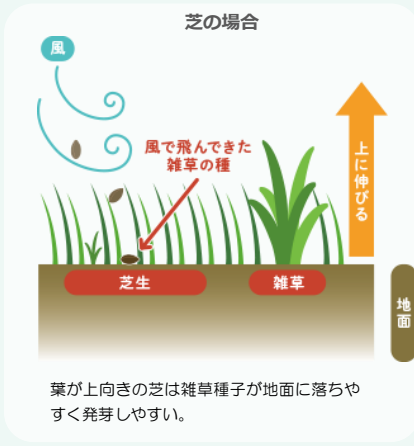
～クラピアは安心してご使用頂けます～

「ヒメイワダレソウ」は、環境省・農林水産省が共同で公表した「生態系被害防止外来種リスト」において国内の生態系に被害を及ぼす恐れのある外来種として重点対策外来種に指定されています。

「クラピア」は在来種イワダレソウの改良品種でありヒメイワダレソウとは別品種ですので安心してご使用頂けます。

01. 雑草低減効果

幾重にも重なり生育するクラピアは飛来した雑草種子が地面に落ちにくく発芽しにくいことから、雑草種子の侵入を抑制する効果が期待されます。



03. 土壌流出防止

クラピアの根は土壌深く張り、根量が多いことが特長です。この根が地下深くまで直根を伸ばすことでしっかり土壌を抑え、法面保護や土留めの効果を発揮します。根が深く伸びると乾燥にも強くなり、全面被覆後は水やりも不要です。



「6ポット/m²」植付後2か月で被覆



クラピアと芝の根を比較

04. 繁殖スピード

芝の約10倍の速さで広がる生長スピードもクラピアの大きな特長の一つです。生長期（5月～8月）に4ポット/m²で植栽するとおおよそ2～3か月で地表面を覆います。

クラピアの被覆経過



植栽直後(6月)



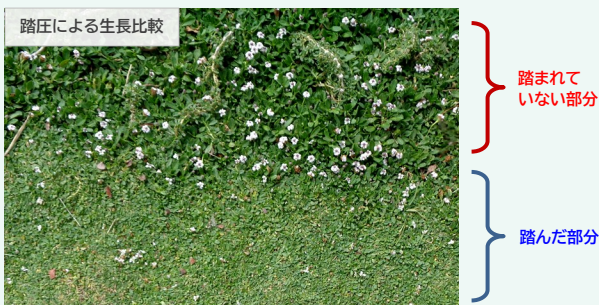
32日目



53日目

07. 耐踏圧性

クラピアは、全体に被覆した後に上を歩いたり踏んでいただいても問題なく利用でき、踏まれる事で葉が小さくなり、より緻密なマット状に繁殖して花数も少なくなるという特長があります。芝生が擦り切れるような場所ですとクラピアも擦り切れてしまいますが、成長の早いクラピアは短期間に回りから再生し被覆します。



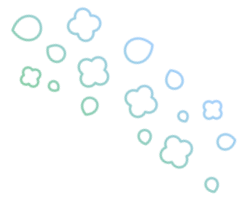
08. 多年生植物

クラピアは多年草です。一度植えると毎年被覆し、開花も楽しめます。日平均気温10℃以下になると休眠に向かいますが、翌春に芽吹いてグリーンが広がります。

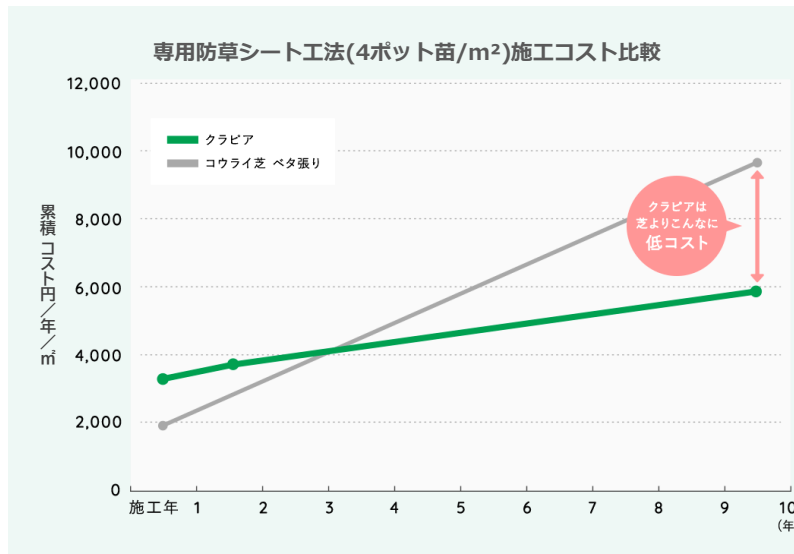


※写真は当社栃木県小山市での様子。

常緑ではありませんので休眠時期は褐色になります。冬でも暖かい地域や、南側のり面で日照のよい所などは、完全に休眠しない場合もあります。



02.維持管理コストの低減



クラピアは葡萄茎で横に広がる性質のため、芝生よりも定期的な刈り込みを低減できます。被覆後は定期的な水やりの必要もなく、緻密に覆うことで雑草低減効果もあり、他の地被植物に比べて維持管理コストの低減が可能です。

左図は、「クラピア」と「コウライ芝」のコスト比較です。導入時は芝よりもクラピアのほうがコストがかかっていますが、ランニングは安価に抑える事ができ、3年目以降からのトータルコストで見ると、クラピアの方が安価です。

これまで防草や緑地の維持管理にコストがかかっていた場所についても、クラピアを導入いただくことで管理コストの削減につながります。

05.沿岸でも生育する「耐塩性」

クラピアは、もともと海岸近くに自生しているイワダレソウが原種のため、塩には強い耐性を持っています。海水のしぶきがかかる場所でも生育できるため海沿いで緑化が難しい場所への植栽に適しています。塩害を受けた土壌でも大規模な改良を行うことなく生育できる希少な植物です。



茨城県沿岸の植栽写真

06.環境に配慮した「在来種」「不稔性」植物

沖縄に自生しているイワダレソウから改良を重ねて開発したクラピア。全品種農水省に品種登録し、「生態系被害防止外来種リスト」から除外されています。植栽場所の生態系に影響なく、安心してご使用いただけます。種をつけないよう改良している為、意図しないところに種が運ばれて発芽し、勝手に広がることがありません。



09.防草シートとの併用が可能

クラピアは防草シートと組み合わせて植栽できる数少ない緑化植物です。専用防草シートを併用した場合、高い防草効果を発揮し、クラピアが防草シートの上に広がることで紫外線を遮ることからシートの耐用年数を伸ばすことも可能。クラピア+シートで長期でのコスト減と美観の向上を同時に叶えます。

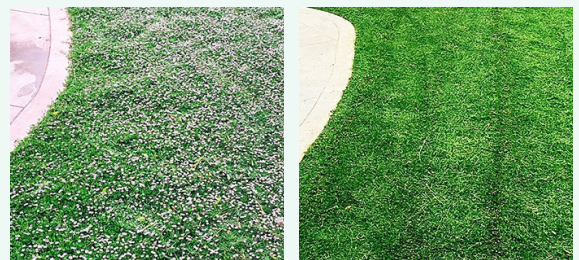


【クラピアマルチシートでの施工例】

クラピア用防草シートは伸びたランナーから出た根をシート下に貫通させます。クラピアが全面被覆するとシートは見えなくなり、紫外線劣化も抑制。

10.美しい景観

クラピアは春から夏にかけて1cmくらいの可愛らしい花を咲かせます。開花期間は5月~8月と比較的長く一面の花畑のような風景を楽しめます。刈込み回数を増すことで葉が小さく緻密なグリーンカーペットの仕上がりに。1つの植物で表情の異なる景観をご覧いただけます。



開花したクラピア

刈り込み後

A: 苗直植え工法	B: 専用防草シート工法	C: シートキャップ工法
	 NETIS : KT-180147-A	 NETIS : KT-180147-A
<p>土に直接クラピアを植える一般的な植栽工法です。繁茂するまでは丁寧に草抜きを行う必要があります。</p>	<p>クラピア専用防草シートを併用し苗を植える工法です。クラピアとシートを併用することで、雑草抑制効果を高めることができます。</p>	<p>クラピア専用防草シート工法をさらに防草能力を高めた工法で、シート穴あけを簡略化、植え穴掘りを自動化しました。公共・民間工事物件専用仕様です。</p>
<p>【植栽面積】1㎡～可能</p>	<p>【植栽面積】1㎡～可能</p>	<p>【植栽面積】50㎡～可能</p>

～公共・民間で様々な緑化シーンに導入頂いています～

法面緑化

クラピアが得意とする法面。70°の急斜面での実績あり。



道路周辺緑化

国道、県道、高速道路など多くの道路で活用されています。



建築外構

建物周辺の緑化事例。美観向上と防草を同時に叶えます。



河川

クラピア用防草シート併用で雑草発生を各段に抑制。



その他

公園、太陽光発電所、個人のお庭、学校、園庭など様々な場面で導入されています。



採用実績を随時更新中。
こちらからご覧下さい。



01.クラピア用防草シート シート上に伸びたクラピアから出た根がシートを貫通し自活できる通根仕様です。



外から飛来する雑草種子の着地を抑えながら土中の種子の発芽も抑止。高い防草効果を発揮！
当社のシートはクラピアの根を通すためクラピアの生長を妨げません。クラピアが被覆してシートを覆った後は、シートに紫外線が届かなくなり、劣化も防ぎます。（写真はクラピアマルチシートの様子）

※通常の防草シート（不通根タイプ）の場合、生長後も元株からしか栄養共有されない為、生育が遅くなったり、短年で衰退することがあります。

クラピアマルチシート



クラピア専用のオリジナル防草シートです。通根性を重視し直植えと同等の生育を実現。通根性、生育サポート力共に最も優れたシートです。

- 商品バリエーション
幅2m×長さ50m巻き／幅1m×長さ50m巻き
- 厚み：1.2mm
- 材質：ポリエステル不織布

クラピアバイオシート



トウモロコシに由来する生分解性プラスチック繊維を素材として作られた生分解性の防草シート。最終的に分解されて自然に還る環境負荷の少ないシートです。

- 商品バリエーション
幅1m×長さ50m巻き
- 厚み：0.7mm
- 材質：ポリ乳酸長繊維不織布

※各シートの仕様詳細、及び他シート（通根性防草シート、植栽シートライト）の紹介は別途商品チラシをご覧ください。

02.有機一発肥料（推奨肥料）

被覆肥料を配合した元肥一発タイプの肥料です。有機質肥料と被覆肥料との組み合わせによりクラピアの生育と共に徐々に肥料が溶けだします。植穴に直接投入しても根が肥料やけしにくく、広がり始めに追肥いただくと1シーズン効果が持続されます。



800g袋品



20Kg袋品

他にも各種資材をご用意しています。詳細はこちらのページをご覧ください。

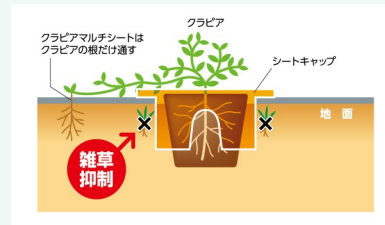


03.シート工法資材他

シートキャップ



植穴からの雑草発生も抑制します。（※施工業者様用の専用工具レンタル有り）



シートピン

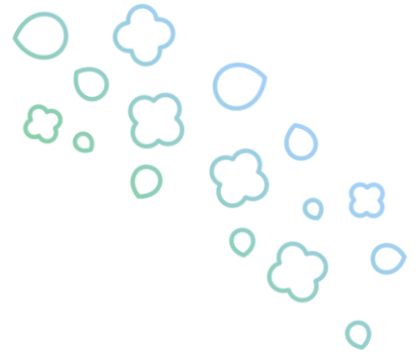


クラピアシートを留めるためのピン。あえてメッキ加工を行わず、サビることにより地面により密着。抜けにくいピンです。

- 【サブピン】φ3mm-U30mm×15cm
- 【アンカーピン】φ4mm-U40mm×25cm

緑化関連資材カタログをダウンロード頂けます。





Green Produce



「クラピア」は改正種苗法による登録品種です。類似品や違法販売品にご注意ください。



「クラピア」は種苗法に基づいて保護されている種苗登録品種、いわゆる植物の特許品種です。有償・無償を問わず、他者への譲渡や販売、譲渡を目的とした栽培や増殖、海外への持ち出しなどの行為はすべて違法となります。

「クラピア」の販売は当社が販売契約を締結している特約店、販売店を経由してのみ行っており、購入やお問合せは以下の正規販売店にご連絡下さい。

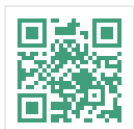
クラピア販売元

株式会社グリーンプロデュース

〒323-0069 栃木県小山市上初田愛宕前636

Tel : 0285-37-8833 Fax : 0285-37-8873

www.greenproduce.co.jp



正規販売店 お問合せ先